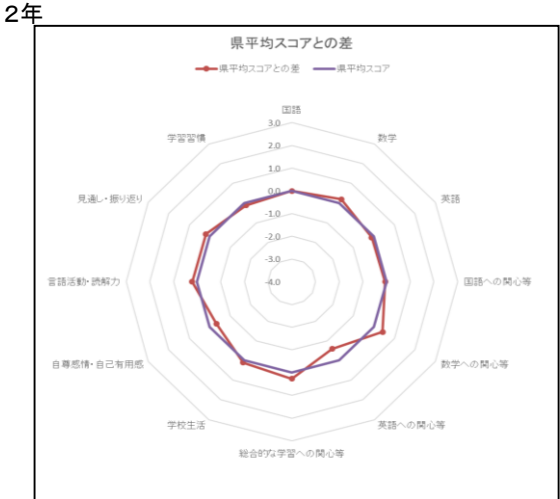
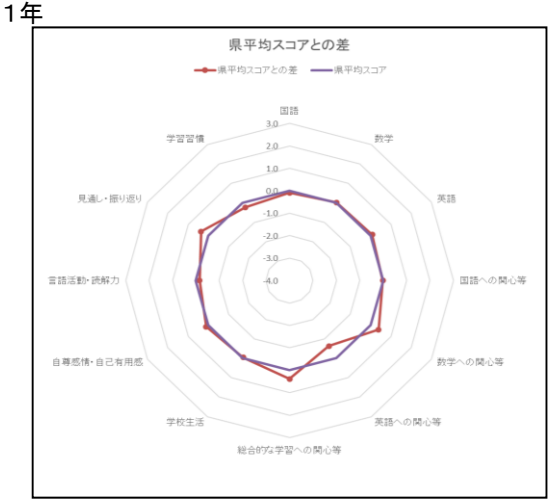


令和元年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立第四中学校)

(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
1年	国語	○文章を読み取る力についてはいる。 ●話し合いの流れに沿って話を構成したり自分の役割を捉えたりする力が弱い。	・語彙を増やす学習や漢字の学習は継続して行う。 ・グループ学習を取り入れ、話の流れに沿って聞いたり意見をまとめて述べたりする力を伸ばすようにする。
	数学	●数学的な技能の内容は県より良かったが、数学的な見方や考え方、数量や図形等についての知識・理解については低かった。 ●数学的な見方や考え方である「グラフを読み取り、割合を求める問題」や「規則性を見出し、値を求める問題」数量や図形などについての知識・理解である「展開図を組み立ててできる図形を想像し、辺の長さを求める問題」が県よりも5ポイント以上低かった。	・グループ活動やペア活動を通して、知識を深めたり、より多くの考え方を身につけさせたりする。 ・ドリルでの計算練習や基礎力テスト、小テスト等を使って、計算力の向上を図る。
	英語	○聞く力についてはいる。 ●読む力が弱い。 ●英語への関心が低い。	・文字に対する抵抗感を小さくし、聞く力を読む力や各力に生かせるようにする。 ・苦手意識を持つ生徒にも取り組みやすい学習内容を工夫したり、挑戦してみたいと思える題材を用意したりして英語への関心を高める。
2年	国語	○文章の表現の工夫に気づくことができている。 ○推敲する力もついてきている。 ●漢字を書く力が弱い。 ●文章を書く力が弱い。	・語彙を増やす学習や漢字の学習は継続して行う。 ・書いてまとめる学習を随時取り入れるようにする。
	数学	○数学的な見方や考え方は2ポイント、数学的な技能は6.1ポイント、数量や図形についての知識・理解は6.5ポイント高い結果であった。 ●それぞれの問題を細かく見ると、正答率が高い一方、無回答のポイントも高かった。	・グループ活動やペア活動を通して、さらに知識を深めたり、より多くの考え方を身につけさせることで、より高みを目指す。 ・ドリルでの計算練習や基礎力テスト、小テスト等を使って無回答生徒の計算力向上を図る。
	英語	○「伝えたいことについて、まとまった内容で英文を書く」という外国語表現の能力の観点で、県を上回っていた。 ●英文を聞いて情報を正確に聞き取ったり、質問や依頼などを聞いて適切に応じたりする力が弱い。	・ALTを積極的に活用し、聞く力を伸ばす活動の機会を増やしていく。 ・常活動で実施している英会話活動を継続して行い、質問や依頼に対して適切に応じる力を高めていく。

(2) 各学年・各教科の調査結果チャート



(参考) 平均正答率

		国語	数学	英語
1年生	本校	66	49	63
	松江市	69	52	64
	島根県	68	49	62

受検者数
1年生 207 人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。
スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
1年	授業改善に関わる事項	○授業の中で、話し合い活動が有効に行われている。 ○生徒が発言する機会が多く設けられており、肯定的な意見が多い。 ●図書館で行う授業については、肯定的な意見が半数程度で、県平均を下回っている。	・図書館で授業を行う際は、今以上に図書館司書と連携を密にし、事前の調べを充実してから授業に臨む。 ・話し合い活動のルールを今以上に確立し、より有効な活動になるように努力していく必要がある。
	家庭学習に関わる事項	●家庭学習時間、家庭での復習の時間や読書量はやや少ない傾向がある。 ○携帯電話の使用時間は少なく、家庭でのルールが守られていると思われる。 ○教員の家庭学習の評価について、生徒は肯定的である。	・家庭学習に対する評価と励ましをさらに工夫し、生徒の意欲向上につなげる。 ・メディアへの興味は学年が上がることに増すとされる。メディアに関しては、家庭学習に影響を与えていると思われるので、保護者と連携しながら定期的な指導を進めていく必要がある。 ・地域行事への積極的参加は部活動と調整しながら進めていく。
2年	授業改善に関わる事項	○グループ学習は、積極的に取り組んでいる。 ○授業では自分の意見や考えを積極的に述べ、お互いに関わり合いながら授業に取り組んでいる。 ●図書館学習の良さが十分生かしきれていない。 ●授業の復習はまだ十分行われていない。	・プリントやワーク等を使い、家庭でくり返し復習することができる手立てを考え実施していく。 ・各教科で図書館学習の充実化を図り、積極的に行うようにしていく。
	家庭学習に関わる事項	●普段一日あたりの携帯電話やスマートフォンの使用時間は、2時間以上の使用が県平均より多い。 ●普段一日あたりの家庭学習時間は、1時間未満の生徒が県平均より多い。	・自学ノートを利用したの家庭学習を充実するよう指導する。 ・進路学習を通して家庭学習への意欲を高めるよう指導する。 ・携帯電話やスマートフォンの使用が家庭学習に影響を与えていることを、講演会や集会等でさらに知らせていくとともに、家庭へも啓発活動を行う。

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果

